

NURD：トランスデューサー回転ムラによって起こるアーチファクトである。強い血管の蛇行や体内外でのカテーテルの屈曲，ガイドカテ入口と血管壁の角度，Yコネクターの閉めすぎ等が原因となる場合が多い。

Ring down：振動子の近くに生じる音響雑音で，圧電素子の大きな振幅振動に起因する。

Reverberation：等間隔に石灰化の多重エコーを認める。

Attenuation：後方エコーの減衰（すぐに無エコーにはならず reverberation を伴わない）

Hematoma：鬱滞した血流を反映し，均一な高エコー領域として認められる。hematomaの盲端部に造影剤または生食が貯まった場合は，黒いスペースとして認められる。re-entry部位が認められることがある。

Dissection：プラークに亀裂が入り，連続性が失われた部分。解離の深さから内膜内(tear)，中膜に及ぶもの，外膜に及ぶものに分けられる。

Thrombus：血管壁とは異なる構造物で，粒状，斑状の塊に見える。エコー輝度は血栓の性質によって異なり，比較的高エコーのもの（古い血栓とされる），低エコー信号のものまで様々である。